

中国語検定試験に関する一考察

著者	竹中 佐英子
著者別名	Saeko Takenaka
雑誌名	経済論集
巻	45
号	2
ページ	183-198
発行年	2020-03
URL	http://doi.org/10.34428/00011500

中国語検定試験に関する一考察

竹 中 佐英子

1. テーマ選定理由

筆者は現在、東洋大学経済学部国際経済学科（以下「国経」）において、1、2年生の中国語科目を担当しているが、履修者に対し、中国語検定試験（以下「中検」）を受験するよう勧め、授業では自ら作成した教材を用いて、中検に出題される語彙と文法を重点的に教えている（詳細は竹中2014. p45）。中検とは、1980年代～日本中国語検定協会が主催している、主に日本語を母語とする中国語学習者を対象にした、中国語の能力を測る試験であるが、筆者が履修者に中検受験を勧めている理由は2つある。1つは、中検に合格すると履修者の学習意欲が高まるから、もう1つは中検に合格した学生は就活で有利になるからである。経済学部でも初習外国語（独仏中）学習を奨励するため、各国語検定試験受験者に対し、検定料を補助する制度ができた。この制度が設立される前、国経の中検受験者は年間2～3人しかいなかったが、制度設立後の2013年6月には21人の合格が確認された¹⁾のを皮切りに、毎年20人近くが受験、合格している。これは中検の受験指導が一定の成果を上げていることの表れである。

中検協会HPによると、合格の目安となる学習時間数と語彙数は、中検準4級が「学習時間60～120時間。一般大学の第二外国語における第一年度前期修了、高等学校における第一年度通年履修、中国語専門学校・講習会などにおける半年以上の学習程度。基礎単語約500語、日常挨拶語約50～80による語句・単文の中国語訳ができる」、4級が「学習時間120～200時間。一般大学の第二外国語における第一年度履修程度。常用語500～1,000による単文の日本語訳・中国語訳ができる」、3級が「学習時間200～300時間。一般大学の第二外国語における第二年度履修程度。常用語1,000～2,000による複文の日本語訳・中国語訳ができる」となっている。中国語専攻でない学生が3級に

1) ここで「21人の合格が確認されている」と書いたのは、2013年6月に中検を受験したが、筆者にはその可否を報告しに来ない学生が一定数存在していることによる。筆者が受験を把握することのできた履修者については、その受験級、可否、得点の詳細を、竹中2014. p45～48で紹介している。

合格していれば、中国語での専門的な商談はできなくとも、中国企業の社員を空港まで迎えに行き、中国語で挨拶し、会社まで移動する車の中で雑談をして、もてなすことができる。国経の中国語履修者のほとんどは、大学入学後に初めて中国語を学ぶので、筆者は1年生秋学期終了時に準4級、2年生春学期に4級、2年生秋学期に3級を受験できるよう、指導している。

中検の各グレードには、よく出題される語彙や文法項目がある。そこで本稿は、国経中国語履修者が合格を狙える中検準4級、4級、3級の筆記試験について紹介し、次に筆記試験の中で、中検が最も重視している母国語を訳す力を測る「日文中訳問題」を分析し、各グレードの頻出項目や出題傾向を分析した上で、最後に国経の中国語教育における中検指導に対して提言を行う。

2. 中検紹介

本章は、中検準4級、4級、3級の筆記試験の出題内容と解答形式を説明する。

準4級は、解答時間60分間、最初に30分間程度のリスニング試験（配点50点）があり、続いて筆記試験（配点50点）に移る。合格最低点はリスニングと筆記の合計で60点である。筆記試験の出題内容と筆記試験は、▼中国語の単語の正しいピンイン表記の選択（資料1）▼適語補充（資料2）▼語順整序（資料3）▼日文中訳（資料4）——の4種類で構成され、ピンイン選択、適語補充、語順整序はマークシートで択一式、日文中訳は記述式で解答する。

資料1. (1)~(5)の中国語の正しいピンイン表記を、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(1)忙 ①wáng ②mán ③máng ④méng (第79回準4級)

資料2. (6)~(10)の日本語の意味になるように空欄を埋めるとき、最も適当なものを、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(6)彼は何という名前ですか。 他[] 什么名字？

①叫 ②说 ③问 ④姓 (第78回準4級)

資料3. (11)~(15)の日本語の意味になるように、それぞれ①~④を並べ替えたとき、[] 内に入るものはどれか、その番号を解答欄にマークしなさい。

(11)王君は《新华字典》を1冊買いました。

小王 _____ [] _____。

①一 ②本 ③《新华字典》 ④买了 (第77回準4級)

資料4. (1)~(5)の日本語を中国語に訳したとき、下線部の日本語に当たる中国語を漢字（簡体字）²⁾で解答欄に書きなさい。漢字は崩したり略したりせずに書くこと。

(1)a. 車を降りる。(第79回準4級)

4級と3級は共に、解答時間100分間、最初に約30分間のリスニング試験（配点100点）があり、続いて筆記試験（配点10点）に移る。合格基準点は、4級がリスニング、筆記それぞれ60点以上、3級がリスニング、筆記それぞれ65点以上で、どちらか一方でも合格基準点に達していないと合格できない。筆記試験は、▼中国語の二音節単語の声調組み合わせの選択（資料5）▼中国語の単語の正しいピンイン表記の選択（資料6）▼適語補充（資料7）▼語順整序（2種類、1種類は資料8の形式、もう1種類の形式は準4級資料3に同じ）▼中国語の文章読解▼日文中訳（資料9）——の5種類で構成され、声調組み合わせ、ピンイン選択、適語補充、語順整序、文章読解はマークシートで択一式、日文中訳は記述式で解答する。

資料5. (1)~(5)の中国語と声調の組み合わせが同じものを、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(2)学校 ①内容 ②社会 ③同意 ④相信 (第79回4級)

資料6. (6)~(10)の中国語の正しいピンイン表記を、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(7)牛奶 ①niúnán ②niúnǎi ③niúniè ④niūnèi (第78回3級)

資料7. (1)~(10)の中国語の空欄を埋めるのに最も適当なものを、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(6) () 去中国留学、他每天都练习会话。

①因为 ②所以 ③为了 ④而且 (第77回4級)

資料8. (1)~(5)の日本語の意味に合う中国語を、それぞれ①~④の中から1つ選び、その番号を解答欄にマークしなさい。

(1)代表团は車で奈良へ行ったのです。 (第79回3級)

①代表团是坐汽车去到奈良的。

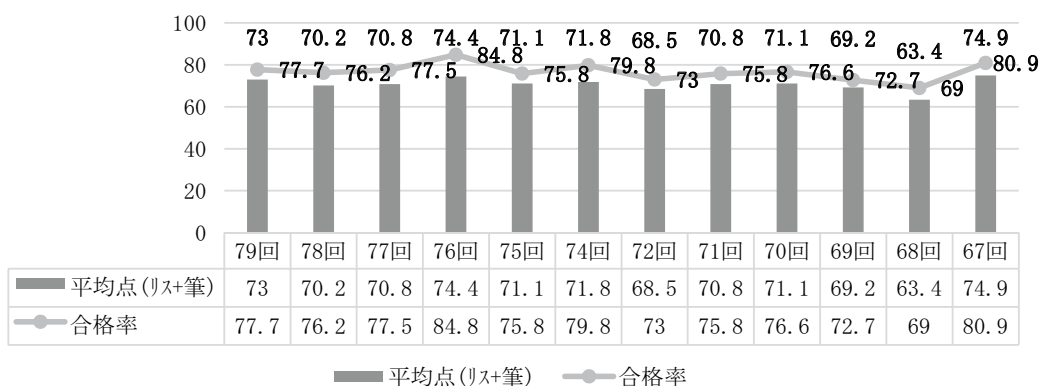
2) 「簡体字」とは漢字の画数を減らした字体で、「電」は“电”、「飛」は“飞”のように書く。

- ②代表团坐汽车到奈良去是的。
- ③代表团到奈良去是坐汽车的。
- ④代表团是坐汽车到奈良去的。

資料 9. (1)~(5)の日本語を中国語に訳し、漢字（簡体字）で解答欄に書きなさい。漢字は崩したり略したりせずに書き、文末には句点や疑問符をつけること。

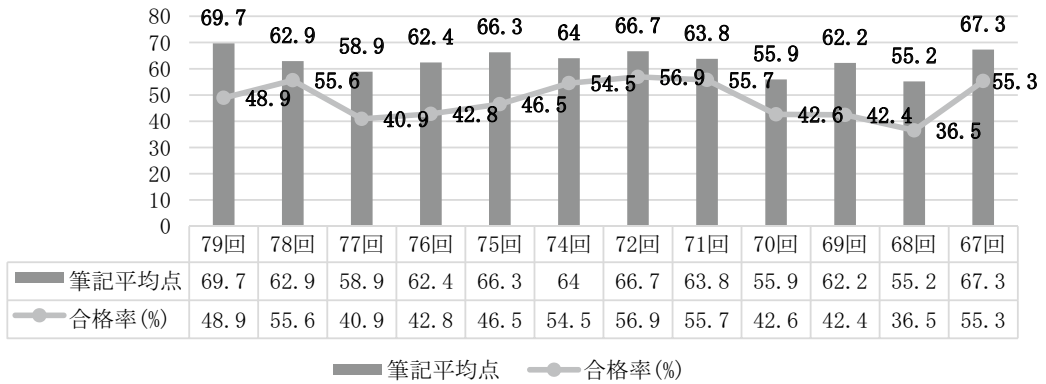
(3)机の上に傘が1本置いてあります。(第78回 3級)

筆者は第67~79回までの計27回中検準4級、4級、3級の筆記の平均点と、合格率を中検HPより収集したところ、準4級のリスニング+筆記の平均点は70.76点、合格率は76.65%、4級筆記の平均点は62.94%、合格率は48.21%、3級筆記の平均点は59.54%、合格率は33.86%である。各回、各級の平均点と合格率は、以下のグラフ1~3のようになる（第73回中検は2011年3月末に実施予定だったが、東日本大震災直後で複数の試験会場が使用不可になったため、中止された）。これらの数値から、準4級の合格率は8割近くに達しているが、4級では5割を切り、3級に至っては3割しか合格しないことが分かる。大学入学後から中国語を学び始める国経中国語履修者が、限られた学習時間の中で3級に合格するには、かなりの努力を要すること、指導する側も頻出事項を効率良く教える必要があると言える。

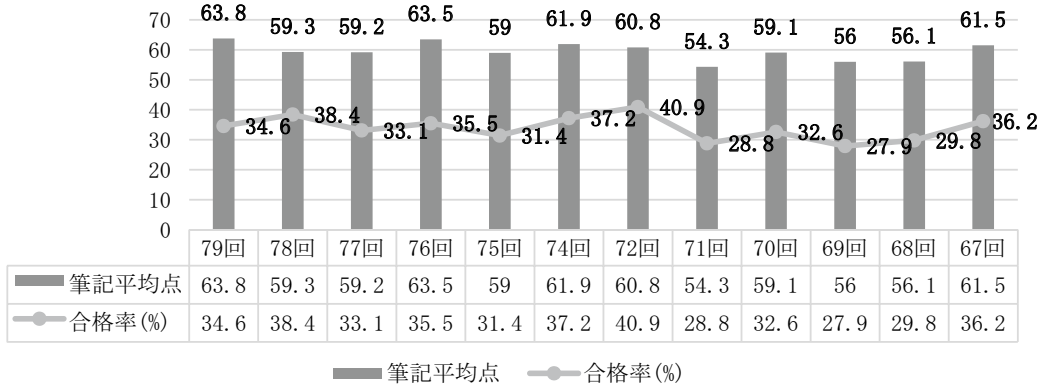


グラフ 1. 中検準4級リスニング+筆記の平均点、合格率

中国語検定試験に関する一考察



グラフ 2. 中検 4 級筆記の平均点、合格率



グラフ 3. 中検 3 級筆記の平均点、合格率

3. 中検日文中訳問題の分析

本章では、中検準 4 級、4 級、3 級の日文中訳問題の出題内容と傾向を分析する。

第 2 章で紹介したように、中検の筆記試験は、準 4 級では 4 種類、4、3 級では 7 種類の出題内容があるが、そのうち日文中訳について分析する理由は 2 つある。1 つは、与えられた選択肢から 1 つ選んで解答する適語補充、語順整序などの出題に比べ、日文中訳問題は、解答者が用いる単語と文法事項をゼロから考え出して、簡体字で書かなければならず、全ての出題内容の中で最も難易度が高いからである。もう 1 つは中検の特徴である。中検協会 HP の試験概要には、以下のような文章が掲載されている。(下線は筆者が加筆)

中国語検定試験（「中検」）は、主に日本語を母語とする中国語学習者を対象とします。現在、日本の外国語学習では、「読む」「聞く」「話す」「書く」能力、いわゆる四技能の習得が求められて

います。しかし、一つの外国語を運用するためには、この四つの能力ではまだ足りません。(中略) 母語ではない外国語の運用能力を測るためには、母語と外国語の関係を処理する能力をも測らなければなりません。すなわち「訳す」能力です。「訳す」能力は、母語をマスターしている者が外国語を学習する際に非常に大切な能力となります。なぜなら母語の経験をもとに外国語を学習するためです。(中略)「中検」は、学習者の外国語能力をより正確に測るため、特にこの「訳す」能力を重視し、それを測ることに力を入れています。

以上の内容から、中検は日本語母語話者の日文中訳能力を測定することを最も重視した試験であることが分かる。

3.1. 中検準4級日文中訳の分析

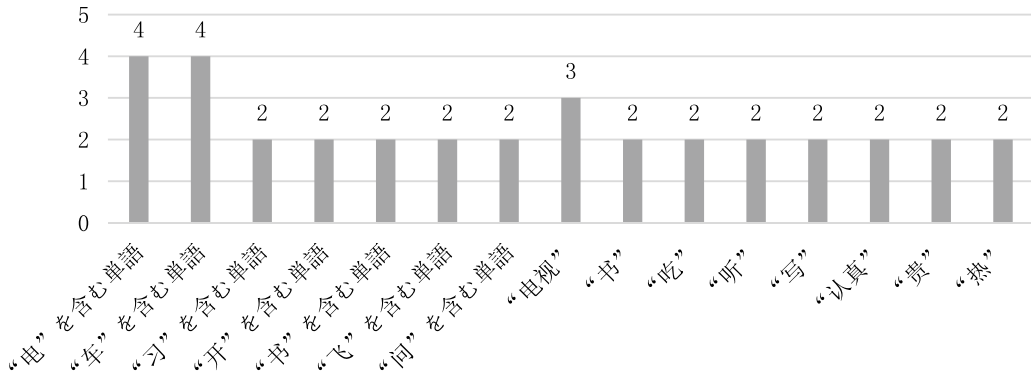
本節では、第67～79回中検準4級日文中訳問題の出題内容を分析する。

表1は第67～79回中検準4級の日文中訳問題の模範解答を一覧で示したものの、グラフ4は同問題を簡体字・単語別に分けた時、出題数が多い順に棒グラフで示したものである。表1の見方を説明する。第76、69、67回準4級日文中訳問題では、「電話をかける」の下線部を簡体字で書くように、という出題があり(第2章資料4参照)、その正解は“电话”である。「日中字形違い」とは、簡体字

表1. 第67～79回中検準4級日文中訳問題の出題一覧名

単語	中国語の模範解答、()内の数字は「第●回に出題」を表す
日中字形違い (27個)	名詞(18)：电话(=電話/76, 69, 67) 电车(=電車/78, 70) 问题(=問題/79, 70, 69) 杂志(=雑誌/78, 71, 68) 头(=頭/74, 69) 药(=薬/71, 68) 车(=車/74, 67) 图书馆(=図書館/74) 时间(=時間/78) 运动(=運動/70) 铅笔(=鉛筆/69) 鸟(=鳥/72) 马(=馬/68) 风(=風/70) 东(=東/79) 钱(=お金；錢/69) 饭(=ご飯/67) 咖啡(=コーヒー/79) 動詞(6)：买(=買う/76) 复习(=復習する/77) 练习(=練習する/71) 开(門)(=ドアを開ける/77) 飞(=飛ぶ/78) 问(=尋ねる；問う/74) 形容詞(3)：难(=難しい/78, 72, 68) 远(=遠い/71) 长(=長い/70)
日中近似型 (4個)	名詞(3)：飞机(=飛行機/71, 68) 邮局(=郵便局/75) 自行车(=自転車/75) 動詞+名詞(1)：开车(=車を運転する/71)
日中異形 (25個)	名詞(8)：电视(=テレビ/75, 72, 68) 电脑(=パソコン/74) 书(=本；書籍/71, 69) 暑假(=夏休み/76) 桌子(=机；テーブル/75) 老师(=先生；教師/76) 妈妈(=お母さん/67) 汤(=スープ/77) 量詞(1)：岁(=…歳/72) 代名詞(1)：什么(=何?/79) 動詞(10)：吃(=食べる/79, 76) 听(=聞く/75, 70) 写(=書く/74, 70) 看(=見る/79) 说(=話す/75) 上(課)(=授業を)受ける/77) 下(車)(=車を)降りる/79) 回(=帰る/77) 走(=歩く/77) 骑(=自転車に)乗る/72) 離合詞(1)：照相(=写真を撮る/77) 形容詞(4)：认真(=真面目である/72, 70) 贵(=値段が高い/78, 69) 热(=気候が暑い/74, 68) 冷(=気候が寒い/76)
その他(1個)	明天的天气怎么样？(=明日の天気はどうですか?/67)

中国語検定試験に関する一考察



グラフ4. 第67～79回中検準4級の日文中訳問題の出題数

の字形が日本漢字と異なるもの（例：「電話」は簡体字で“电话”と表記）、「日中近似型」とは、同じ意味を表す日中の単語の構造、および簡体字と日本漢字が部分的に異なるもの（例：「飛行機」は中国語で「飛機」といい、簡体字で“飞机”と表記）、「日中異形」とは、日中の単語の構造が全く異なるもの（例：「何？」は中国語で「什麼」といい、簡体字で“什么”と表記）を指す。第67回準4級では日本語の文を中国語に訳す出題がわずかにあったが、第68回以降は日本語の単語を中国語の単語に訳して簡体字で書く出題だけになっている。

表1、グラフ4を見るに、準4級日文中訳は、日中字形違いが27個、日中異形が25個と、ほぼ同数出題されている。日中字形違いでは、「電」の簡体字“电”を含む単語（“电话”“电车”“电视”“电脑”）、「車」の簡体字“车”を含む単語・フレーズ（“电车”“车”“自行车”“开车”）がそれぞれ4個ずつ、「習」の簡体字“习”を含む単語（“复习”“练习”）、「開」の簡体字“开”を含む単語・フレーズ（“开门”“开车”）、「書」の簡体字“书”を含む単語（“书”“图书馆”）、「飛」の簡体字“飞”を含む単語（“飞”“飞机”）、「問」の簡体字“问”を含む単語（“问”“问题”）がそれぞれ2個ずつ出題されている。日中異形では、「テレビ」を意味する「电视’“电视”が3回と最も多く出題されており、「本；書籍」を意味する「書’の簡体字“书”、「食べる」を意味する“吃”、「聞く」を意味する“听”、「書く」を意味する“写”、「真面目である」を意味する“认真”、「値段が高い」を意味する「貴’の簡体字“贵”、「気候が暑い」を意味する「熱’の簡体字“热”が2回ずつ出題されている。このうち“吃”“写”“贵”といった中国語の単語を見ると、日本漢字の「吃音」「写す」「貴い」から全く異なる意味を想起し、また“热”という中国語の単語を見ると、日本漢字の「食べ物、飲み物などの温度が熱い」という意味を想起するので、学習時に注意が必要である。

品詞別で見ると、名詞が計29個、動詞が計16個、動詞+目的語と離合詞がそれぞれ1個、形容詞が計7個である。語学学習の入門、初級段階では、「主語+動詞+名詞の目的語」（“我吃饭”=私は

ご飯を食べる＝)の語順を中心に学ぶが、中国語は動詞や人称代名詞が格変化を起こさない孤立語であるので、1つの動詞を覚えて目的語となる名詞を変えれば、様々なバリエーションの表現ができる。よって、入門学習者を対象とした準4級の日文中訳問題では、名詞や動詞を中心とした出題になっている。

3.2. 中検4級日文中訳の分析

本節では、第67～79回中検4級日文中訳問題の出題内容を分析する。

表2は第67～79回中検4級の日文中訳問題の模範解答を一覧で示したもので、グラフ5は同問題を文法項目別に分けた時、出題数が多い順に棒グラフで示したものである。表2の見方を説明する。第70回4級日文中訳問題では、「それらの本もみな図書館のです。」を中国語に訳して簡体字で書くように、という出題があり(第2章資料9参照)、その模範解答は“那些书也都是图书馆的。”である。これらの模範解答は中検協会がHPで発表したものであるが、模範解答と同じでなくとも、文法上の誤りがなく、成立する文であれば得点が与えられる。

表2、グラフ5を見るに、最も多く出題されているのは「時点+動詞」の構造と「形容詞述語文」(それぞれ6個ずつ)である。これらがよく出題されている理由を分析する。

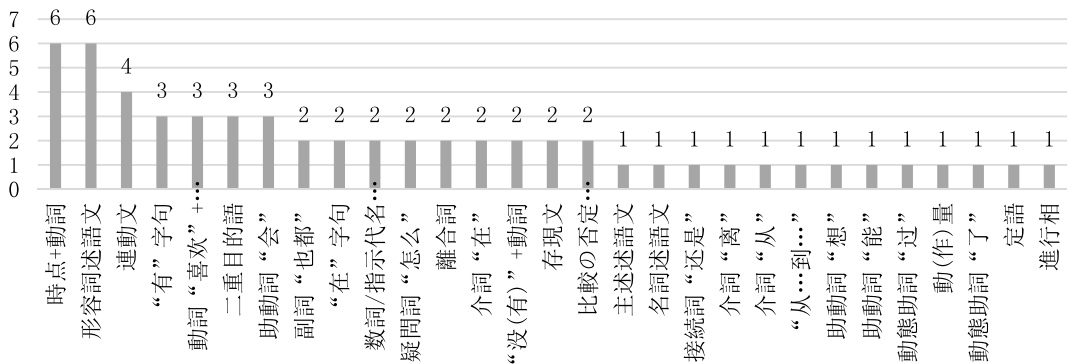
まず、「時点+動詞」であるが、中国語では「毎日」「朝」「7時」「何時?」のように、時間の流れの中のある1点を表す文成分を「時点」と言い、動詞に対する連用修飾語として動詞の前に置く(興水・島田 2009. p158～161)。しかし、多くの中国語学習者は、英文法の学習経験から時点の部分を文末に置く間違いをする。狄昌运1996.は1989～1991年に日本のいくつかの大学で中国語を教えた際の非文(文法上の誤りがある文)を収集、分析している。狄昌运1996. p48,113には*“到了高崎十点钟。”「10時に高崎に到着した。」*“起床什么时候?”「いつ起きますか?」と、時点およびそれを尋ねる疑問フレーズを動詞の後ろに持って来る非文がある。よって、第79回「私は毎朝7時に朝食をとります。」では、英語の表現“I have breakfast at seven o'clock every morning.”から発想して、「毎朝7時に」の部分を*“我吃早饭七点每天早上。”と文末に持って行く誤答が多いだろう。

次に、「形容詞述語文」であるが、中国語では「暑い」「賑やかである」など、形容詞で言い終わる文を「形容詞述語文」と分類するが、これが多く出題された理由は2つあると考えられる。1つは、形容詞述語文の平叙文を終止するには、必ず何らかの程度副詞(以下の例文の下線部)を伴わなければならないからである(興水・島田 2009. p229)。例えば、*“今年夏天热。”*“我家热闹。”のような分は成立せず、“今年夏天有点儿热。”「今年の夏はどうもちよつと暑い。」“我家非常热闹。”「我が家は非常に賑やかである。」のように、程度副詞“有点儿”“非常”などを伴わなければならない。もし単に「暑い」「賑やかである」とだけ言いたい場合は、形容詞の前に程度副詞“很”を置いて“今年夏天很热。”「今年の夏は暑い。」“我家很热闹。”「我が家は賑やかである。」のように言わなけれ

表2. 第67～79回中検4級日文中訳問題の出題一覧

文法項目	中国語の模範解答、()内の数字は「第●回に出題」を表す
副詞“也都”(2)	那些书也都是图书馆的(70)。我们也都是高中生(68)。
“有”字句(3)	车站里有厕所吗？(76)冰箱里有水果(68)。书包里有什么东西？(67)
“在”字句(2)	邮局在车站(的)对面(77)。我(的)妹妹现在在北京(75)。
時点+動詞(6)	我每天早上七点吃早饭(79)。火车下午两点开(69)。你今天晚上几点睡觉？(75)你明天早上几点出发？(71)她星期几出发？(68)他什么时候去法国？(67)
数詞/指示代名詞+量詞(2)	这辆公共汽车去动物园吗？(74)我要一双新的鞋(69)。
形容詞述語文(6)	去年夏天大阪很热(77)。我家昨天晚上也很热闹(72)。昨天的电影没有意思(76)。这个菜不太好吃(76)。姐姐的照相机不太便宜(70)。你们学校的图书馆大吗？(74)
主述述語文(1)	这个公司年轻人很少(79)。
名詞述語文(1)	您父亲今年多大年纪了？(70)
動詞“喜欢”+動詞+目的語(3)	他很喜欢看报纸(71)。你也喜欢看棒球(比赛)吗？(77)我喜欢一边看电视一边吃饭(72)。
疑問詞“怎么”(2)	去图书馆怎么走？(78)她的名字怎么念？(76)
接統詞“还是”(1)	你要绿的、还是要红的？(72)
二重目的語(3)	请给我一杯茶(76)。我送朋友礼物(74)。我想问你一个问题(71)。
連動文(4)	他骑自行车来学校(68)。我骑自行车去图书馆(72)。我每天骑自行车去公司(71)。我想和朋友一起去中国留学(75)。
離合詞(2)	后天我打算去跟朋友见面(78)。下午也下雨吗？(78)
介詞“在”(2)	他们在图书馆看书(79)。我不在家吃饭(67)。
介詞“离”(1)	他家离公司远吗？(71)
介詞“从”(1)	你从哪儿去公司？(69)
“从…到…”(1)	我从九点到十二点有事(78)。
助動詞“想”(1)	孩子们很想回家(69)。
助動詞“会”(3)	他会说一点儿汉语(75)。你会说汉语吗？(72)你会说英语吗？(67)
助動詞“能”(1)	这儿不能抽烟(70)。
動態助詞“过”(1)	我去过长城(79)。
動(作)量(1)	她去过一次长城(67)。
動態助詞“了”(1)	她借了一本汉语词典(74)。
“没(有)”+動詞(2)	他今天没(有)来上课(75)。他今天没(有)洗澡(69)。
定語(1)	那个穿大衣的人是谁？(70)
存現文(2)	桌子上放着一把伞(78)。黑板上写着他的名字(77)。
進行相(1)	他在洗澡呢。(77)
比較の否定“没有”(2)	青岛的夏天没有广州(那么)热(79)。这里没有那里(那么)热闹(74)。

ばならない。程度副詞“很”は動詞の前に置いて、“很喜欢。”などとすれば「とても好きだ」と程度を強める意味合いが出て来るが、“今年夏天很热。”の“很”には「とても」と程度を強める意味合い



グラフ5. 第67～79回中検4級日文中訳問題の出題数

はない。しかし、英語の形容詞述語文ではbe動詞を用いて文終止することから、狄昌运 1996. p119 には*“现在的中国是安全。”「現在の中国は安全である。」と、程度副詞ではなく動詞“是”を用いて文終止した非文がある。2つ目の理由は、中国語の形容詞は現在、過去、未来の時制によって表現を変えることがないからである。例えば、「今年の夏は暑い。」は“今年夏天很热。”であるが、第77回「去年の夏大阪の夏は暑かった」も“去年夏天大阪很热。”であるし、「我が家は今日賑やかである。」は“我家今天很热闹。”であるが、第72回「我が家は昨日の夜も賑やかだった」も“我家昨天晚上也很热闹。”である。しかし、形容詞を過去形にするため、“去年夏天大阪很热了。”のように、完了を表す動態助詞“了”を加えた誤答があるだろう。

この他、よく出題されている文法項目は、「連動文」(4個)、「有」字句、「助動詞“会”」「動詞“喜欢”+動詞+目的語」「二重目的語」(それぞれ3個)である。以下、これらがよく出題されている理由を分析する。

まず「連動文」とは、第75回“我想和朋友一起去中国留学。”のように、1つの主語(“我”「私」)に対する述語(“想和朋友一起去中国留学”「友達と一緒に中国へ留学しようと思います」)の中に、2つ以上の動詞性成分(“去中国”「中国へ行く」「留学」「留学する」)が存在し、それを動作が行われる順番に並べる文の構造である(興水・島田 2009. p85)。第72、71、68回では第一の成分“骑自行车”「自転車に乗って」が第二の成分“来学校”「学校に来る」「去图书馆”「図書館へ行く」「去公司”「会社へ行く」の手段を表すタイプ(興水・島田 2009. p88)が出題されている。しかし、中国語学習者は英文法学習の経験から、第一の成分が第二の成分の手段を表す連動文を、英語の“I go to the library by bicycle.”から発想して、「自転車に乗って」の部分文末へ持って行き、*“我去图书馆骑自行车。”と文末に持って行く間違いを犯しやすい。程美珍1997.は1964～1989年に学習歴1年の英語母語話者の非文900個を収集、分析している。程美珍 1997. p228にも「今や彼らは中国語を用いて会話をすることができるようになった」「现在他们可以用汉语会话了。」とするべきところを、

*“现在他们可以会话用汉语了。”と、手段を表す第一の部分「中国語を用いて」を後ろへ持って行く非文が登場する。

次に「有」字句は、場所+動詞“有”+目的語(不定の建造物)の語順で、第76回“车站里有厕所吗?”「駅の中にトイレはありますか?」のように、場所に建造物が「有るか、無いか」を表す。「有」字句と混乱しやすいのが、2個出題されている「在」字句で、こちらは主語(特定の建造物)+動詞“在”+場所の語順で、第77回“邮局在车站对面。”「郵便局は駅の向かいにあります。」のように、特定の建造物が存在する「場所」を表す。どちらも日本語に訳すと「ある」になるため、正しい方を選択できるかを問うていると考えられる。また、程美珍 1997. p222には「図書館の北側に校舎がある」「图书馆北边儿有教学楼。」とするべきところを、*“教学楼有图书馆北边儿。”と、“有”を用いる際の語順を不定の建造物+動詞“有”+場所目的語の順番に間違えた非文が登場するので、正しい語順を使えるかどうかを問うていることになる。

「助動詞“会”」は「助動詞“能”」混同しやすい。どちらも日本語に訳すと「…することができる」となるが、“会”は「ゼロから技術習得して、できる」、「能”は「条件が整っていて、できる」と、使用する状況が全く異なる。よって、第70回“这儿不能抽烟。”「ここでタバコを吸ってはいけません。」は条件が整わずにタバコを吸うことができない、という意味なので、*“这儿不会抽烟。”は誤答となるが、中検4級受験者では正しい選択をするのは困難であろう。

最後に、「動詞“喜欢”+動詞+目的語」と「二重目的語」であるが、前者の構造は英語や日本語の文法と全く異なり、後者は英文法と同じものである。前者は第71回“他很喜欢看报纸。”「彼は新聞を読むのがとても好きだ。」から分かるように、目的語「新聞を読む」は動作+目的語構造になっており、英語や日本語なら目的語の位置に置くためにto不定詞、ing、「…するの」など、名詞化する必要があるが、格変化を起ささない中国語では動詞を名詞化することなく目的語の位置に置くことができる。後者は第76回“请给我一杯茶。”「私にお茶を1杯ください。」から分かるように、英語の表現“Please give me a cup of tea.”と同じ語順である。

表2でよく出題されている単語を見ると、「日中字形違い」(簡体字の字形が日本漢字と異なる)の“图书馆”(図書館)が第79、78、74、72、70回、“出发”(出発する)が第71、68回、“长城”(長城)が第79、67回、「日中近似型」(簡体字と日本漢字が部分的に異なる)の“自行车”(自転車)が第72、71、68回、“晚上”(晩;夜)が第75、72回、「日中異形」(日中の単語の構造が全く異なる)の“去”(行く)が第79、78、75、74、72、71、69、67回、“看”(読む;見る)が第79、77、72、71回、“说”(話す)が第75、72、67回、“骑”(またがり乗る)が第72、71、68回、“吃”(食べる)が第79回、72、67回、“公司”(会社)が第79、71、69回、“车站”(駅)が第77、76回、“下午”(午後)が第78、69回、“名字”(名前)が第77、76回、“怎么”(どのように?)が第78、76回、“汉语”(中国語)が第75、72回“洗澡”(入浴する)が第77、69回、“热”(暑い)が第79、77回、“热闹”(賑やかである)が第74、72回となっ

ている。これらの単語のうち、“图书馆”“自行车”“看”“说”“骑”“吃”“热”といった単語は準4級でもよく出題されている（第3章第1節参照）。

3.3. 中検3級日文中訳の分析

本節では、第67～79回中検3級日文中訳問題の出題内容を、文法項目別に分類する。

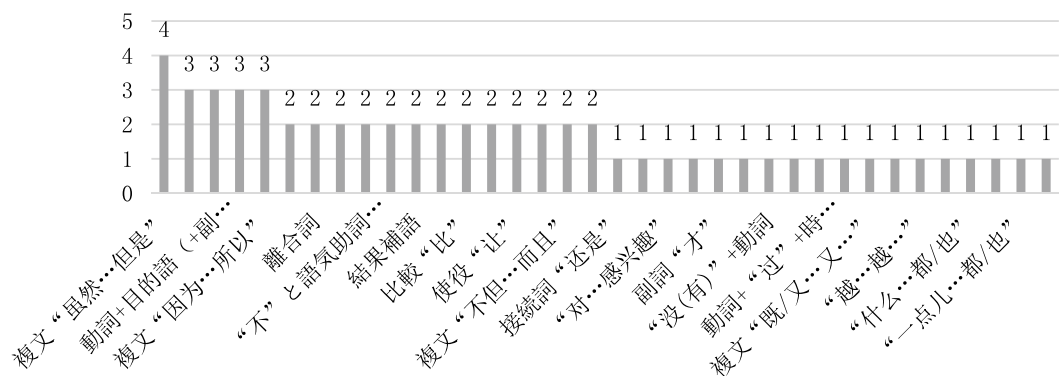
表3は第67～79回中検3級の日文中訳問題の模範解答を一覧で示したものの、グラフ6は同問題を文法項目別に分けた時、出題数が多い順に棒グラフで示したものである。表3の見方を説明する。第76回中検3級日文中訳では、「あなたは中国料理を食べたいですか、それともフランス料理を食べたいですか。」を中国語に訳して簡体字で書くように、という出題があり、その模範解答は“你想吃中国菜、还是想吃法国菜？”である。これらの模範解答は中検協会がHPで発表したものであるが、模範解答と同じでなくとも、文法上の誤りがなく、成立する文であれば得点が与えられる。表3、グラフ6を見るに、最も多く出題されているのは「複文“虽然…但是…”」（4個）、次いで「存現文」[動詞+目的語（+副詞）+時(間)量+語気助詞“了”]「“把”字句」[複文“因为…所以…”」（それぞれ3個）である。これらがよく出題されている理由を分析する。

まず、最も多く出題されている「複文“虽然…但是…”」であるが、複文とは接続詞や副詞を用いて2つ以上の文を組み合わせた文を指す（興水・島田 2009. p43）。3級日文中訳では、“虽然…但是…”の他、“因为…所以…”（3個）“不但…而且…”“如果/要是…的话、就…”（それぞれ2個）“既/又…又…”“不是…而是…”（それぞれ1個）といった複文も出題されている。これは、合格の目安に「常用語1,000～2,000による複文の日本語訳・中国語訳ができる」とあるように、3級は複文を駆使できることを重視しているからである。

こうした複文の出題では、接続詞や副詞を用いて「動詞+目的語」、形容詞述語文のような単純な構造の文をつなげば良いものだけでなく、複数の文法項目を動員しなければ正解できないものも多い。例えば、第71回“汉语虽然很难、但是我一定要学好。”「中国語は難しいが、私は必ずマスターしたい。」では、前半の文は4級で最も多く出題された形容詞述語文という単純な構造であるが、後半の「マスターしたい」は「学んだ結果、きちんとした状態にする」と発想し、助動詞“要”+動詞“学”+結果補語“好”の構造にしなければならない。他の複文では、4級でも出題された助動詞“会”と“能”を使い分ける必要があるものが3個ある。第79回“她不但会开车、而且还能修理。”「彼女は車の運転だけでなく、修理もできる。」では、前半の「運転ができる」の「できる」には技術習得を表す助動詞“会”、後半の「修理もできる」の「できる」には更なるレベルのことができることを表す助動詞“能”、第76回“因为我刚喝了酒、所以不能开车。”「私はお酒を飲んだばかりなので、車の運転はできません。」では、技術習得していなくて車を運転できない（“不会”）のではなく、お酒を飲んで条件が整わず運転できないので“不能”、第77回“今天要是星期天的话、街上会更热闹(77)。”「もし今日が日曜日ならば、

表 3. 第67～79回中検 3 級日文中訳問題の出題一覧

文法項目	中国語の模範解答、()内の数字は「第●回に出題」を表す
接続詞“还是”(1)	你想吃中国菜、还是想吃法国菜?(76)
二重目的語(1)	请告诉我医院的地址、好吗?(70)
連動文(2)	山田下个月去大连出差(74)。有机会、咱们一起去看电影吧(70)。
離合詞(2)	他明年三月大学毕业(69)。我还没跟他见过面(69)。
“对…感兴趣”(1)	我对中国历史很感兴趣(70)。
助動詞“可以”“能”(1)	这儿可以/能 用电脑吗?(67)
副詞“才”(1)	我姐姐今天早上十时才起床(74)。
動態助詞“了”(1)	今天的汉语课山下又迟到了(79)。
強調構文“是…的”(2)	你前天是几点到的?(78)他们不是坐飞机来的、是坐船来的(76)。
“没(有)”+動詞(1)	昨天他们没都来听报告(77)。
“不”と語氣助詞“了”(2)	她决定不参加考试了(67)。我今天晚上不再喝葡萄酒了(77)。
定語(1)	这是前天买的苹果(71)。
存現文(3)	墙上挂着一张世界地图(75)。黑板上写着很多汉字(68)。树下坐着一个老奶奶(72)。
動詞+“过”+時(間)量+目的語(1)	我两年前学过两个月汉语(72)。
動詞+目的語(+副詞)時(間)量+語氣助詞“了”(3)	周老师来日本已经两年多了(79)。我学汉语已经三年了(78)。你学了多长时间钢琴了?(75)
“跟…一样”+形容詞(1)	她跟/和姐姐一样聪明(70)。
複文“既/又…又…”(1)	这家餐厅又便宜又好吃(68)。
様態補語(2)	他做菜做得又快又好吃(77)。她说汉语说得跟/和中国人一样流利(75)。
結果補語(2)	老师说的话、你听懂了吗?(71)我还没(有)做完作业呢。(67)。
可能補語(2)	他连英文小说都/也看得懂(75)。我写了很多次、怎么也写不好(79)。
比較“比”(2)	北京的冬天比东京冷得多(76)。我家的狗比你家的小一点儿(74)。
比較の否定“没有”(2)	我的车没有他的(车)那么贵(68)。那家商店的面包没有这家(商店)那么好吃(67)。
使役“让”(2)	妈妈让妹妹关窗户(72)。父母不让我去留学(67)。
“把”字句(3)	请把这本书放进书包里(78)。我想把这篇文章翻译成日文(75)。请把这块手表给我看一下(74)。
兼語文(1)	我不懂韩国语、所以请她翻译(79)。
“越…越…”(1)	那个电影越看越有意思。(77)
“一边儿…一边儿…”(2)	他一边儿查词典、一边儿写信(71)。她们一边儿唱歌、一边儿跳舞(68)。
“先…然后再…”(1)	先吃饭、然后再做作业(78)。
“什么…都/也”(1)	房间里什么人都/也没有(71)。
“一…都/也”(1)	灯亮着、可房间里却一个人也没有(72)。
“一点儿…都/也”(1)	这本书一点儿也没有意思(70)。
複文“因为…所以”(3)	因为明天下雨、所以后天去吧(72)。我因为没有钱、所以在家吃饭(69)。因为我刚喝了酒、所以不能开车(76)。
複文“虽然…但是”(4)	这本书虽然贵、但是很有用(69)。学习汉语虽然很难、但是很有意思(68)。我虽然想看电影、但是/可是没有时间(76)。汉语虽然很难、但是我一定要学好(71)。
複文“不是…而是”(1)	他不是不想去、实在是没有时间(69)。
複文“不但…而且”(2)	她不但会开车、而且还能修理(79)。这台/种电脑不但好用、而且价格也便宜(78)。
複文“如果/要是…的话、就…”(2)	如果/要是有困难(的话)、你一定给我打电话(74)。今天要是星期天的话、街上会更热闹(77)。



グラフ 6. 第67～79回中検 4 級日文中訳問題の出題数

町はもつとにぎやかなはずだ。」では、「にぎやかなはず」という可能性を“会”を用いて表す。

この他 3 級では、複数の文法項目を動員しなければ正解できない出題が多く見られる。例えば、動詞の後ろに接続する成分の構造助詞“得”を置き、さらにその後ろにその状態を表す語句を置く様態補語（輿水・島田 2009. p130）が、3 級では 2 個出題されている。4 級では、適語補充（資料 7）で出題されたことがあるが、その構造は第 79 回“每天睡得很晚”。「每晚寝るのがとても遅い。」など、程度副詞 + 形容詞の単純な構造である。しかし、3 級日文中訳の第 77 回“他做菜做得又快又好吃。”「彼は料理を速くおいしく作る。」では“既…又…”、第 75 回“她说中文说得跟/和中国人一样流利。”「彼女は中国人と同じように中国語を流暢に話します。」では“跟…一样”と、比較的複雑な構造を用いなければならない。また、動詞と結果補語の間に“得”または“不”を挟み、「…できる」「…できない」という可能、不可能の表現をする可能補語（輿水・島田 2009. p116）が 2 個出題されているが、第 75 回“他连英文小说都/也看得懂。”「彼は英語の小説でさえも読めます。」では“连…都/也”、第 79 回“我写了很多次、怎么也写不好。”「私は何回も書いてみたが、どうしてもちゃんと書けない。」動詞 + 動態助詞“了” + 動作量、“怎么也…”という比較的複雑な構造を組み合わせる必要がある。

次に多く出題された「存現文」「動詞 + 目的語 (+ 副詞) 時(間)量 + 語気助詞“了”」の構造について分析する。「存現文」とは、場所 + 動詞 + 動態助詞 + 数量 + 目的語（存在、出現するもの）という語順で、特定の場面に人や物がどのような状態で存在しているかを説明する文である（輿水・島田 2009. p93）。存現文は 4 級日文中訳でも 2 個出題されており（表 2）、第 77 回 4 級“黑板上写着他的名字。”「黑板に彼の名前が書いてあります。」と、第 68 回 3 級“黑板上写着很多汉字。”「黑板にたくさん漢字が書いてある。」を比べると同じ構造、同じ語彙を用いればよい出題であり、その他の出題でもほとんど難易度に差がない。これは上記で分析した様態補語と大きく異なる点である。もう 1 つの「動詞 + 目的語 (+ 副詞) 時(間)量 + 語気助詞“了”」という構造であるが、こちらは文末に語気助詞“了”があるかないかで、全く意味が異なってしまう。第 78 回“我学汉语已经三年了。”「私

は中国語を学んでもう3年になります。」では、今も中国語を学んでいる人に対して問うニュアンスなので、文末に新たな状況の発生を表す語気助詞“了”を伴う必要がある。しかし、狄昌运 1996. p207にはこの日文中訳に対する誤答として、“了”の位置を文末ではなく動詞の後ろに置いた*“学了中文学三年。”という非文が登場する。「“把”字句」とは、第78回“请把这本书放进书包里。”「この本をカバンの中に入れてください。」のように、特定された目的語をどのように処置したり、影響を加えるかを述べるために、目的語を介詞“把”で導いて動詞の前に移し、動詞の後ろに処置した後に目的語が帰着する場所などの成分を伴う文型のことである(輿水・島田 2009. p96)。しかし、狄昌运1996.p154によると、日本人中国語学習者は*“我放买的東西在桌子上。”のように、処置を加える目的語“买的東西。”と、処置を加えた後に帰着する場所“在桌子上。”の両方を、動詞“放”の後ろに持っていき間違いを犯すことが報告されている。

表3でよく出題されている単語を見ると、「日中字形違い」(簡体字の字形が日本漢字と異なる)の“车”(車)が第79、76、68回、“难”(難しい)が第71、68回、“时间”(時間)が第76、69回、“翻译”(翻訳する)が第79、75回、「日中近似型」(簡体字と日本漢字が部分的に異なる)の“今天”(今日)が第79、77、74回、「日中異形」(日中の単語の構造が全く異なる)の“去”(行く)が第74、72、70、69回、“看”(読む;見る)が第77、76、75、70回、“写”(書く)が第79、71、68回、“听”(聞く)が第77、71回、“懂”(わかる)が第79、71回、“吃”(食べる)が第78、76、69回、“汉语”(中国語)が第79、78、75、72、71、68回、“电影”(映画)が第77、76、70回、“电脑”(パソコン)が第78、67回、“姐姐”(姉)が第74、70回、“作业”(宿題)が第78、67回、“房间”(部屋)が第72、71回、“书”(本)が第78、70、69回、“喝”(飲む)が第77、76回、“好吃”(美味しい)が第77、68、67回、“贵”(値段が高い)が第69、68回、“有意思”(面白い)が第77、70回、“菜”(料理)が第77、76回、“前天”(一昨日)が第78、71回となっている。これらの単語のうち、“难”“车”“时间”“去”“看”“写”“听”“吃”“电影”“电脑”“书”“贵”といった単語は準4級、4級でもよく出題されており(第3章第1、2節参照)、日文中訳で良く問われる単語は、日中の漢字の字形が微妙に異なるものや、日本漢字から想起される意味が簡体字とかなり異なるものに集中していることが分かる。

4. 中検指導に対する提言

以上の分析結果から、中検準4級、4級、3級の日文中訳問題では、以下のような頻出項目、出題傾向がある。

- ①中検は、日本語を母語とする中国語学習者の「訳す」能力を重視し、それを測ろうとする、中国語の能力試験である。
- ②準4級日文中訳では、“电”“车”“习”といった日中字形違いと、“吃”“写”“贵”といった日中異形の簡体字を中心に出题している。

③4級日文中訳では、「時点+動詞」「連動文」のように、英文法をそのまま応用させて間違えてしまう文法項目、「有”字句」「助動詞“会”」のように、類義語との使い分けが難しい文法項目、「形容詞述語文」「動詞“喜欢”+動詞+目的語」のように、日本語文法とも英文法とも異なる発想が必要な文法項目が、良く出題されている。

④3級日文中訳では、準4級、4級では全く出題されない複文の出題が必ずされている。存現文のように、一部は4級と3級の難易度がほとんど変わらない項目もある。一方、1つの問題の中で、様態補語の部分に複文“既…又…”“跟…一样”を用いる、イディオム“怎么也”と可能補語を用いるといったように、複数の文法項目を駆使しないとできない出題も多い。

以上の分析結果から、国経の1、2年生中国語の授業における中検指導では、以下の点を重視するよう、提言する。

①簡体字は、日中字形違いの形状、日中異形の意味を注意して、教える。

②中国語文法の学習では、日本語や英語の文法学習の経験が負の方面に働かないよう留意する。特に、中国語の語順は英語とは異なる発想であることを教える。

③準4級、4級、3級に良く出題される語彙、文法項目を、易から難へ配列して学ばせ、授業を受けることが中検受験対策につながることを伝え、中検受験を勧める。

【参考文献】

程美珍 1997. 《汉语并举辨析九百例》、华语教学出版社

狄昌运 1996. 《怎样说得对?》、北京语言文化大学出版社

一般財団法人日本中国語検定協会HP <http://www.chuken.gr.jp/>

輿水優・島田亜美 2009. 「中国語わかる文法」、大修館書店

竹中佐英子 2014. 「中国語教育に関する一考察（三）」、『経済論集』第39巻第2号、p37～51

【付記】

本稿は、2017年度東洋大学国内研究の研究成果公表の一部である。